

【月案】7月・5歳児

今月の保育のポイント

- 今までの経験を活かして、遊びを工夫して作り上げたり、友達とやりとりしながら遊びを発展させたりと、深まっていく時期。保育者も遊びのヒントや題材を出しながら子ども達と遊びを深めていく。
- 友達に関わりたい、友達と一緒にやりたい意欲はあるものの、一方通行であることも珍しくない。また自分の思いが伝わらずにトラブルとなることもあるので、保育者はお互いの間に入り、目には見えない友達の気持ちを丁寧に少しずつ聞きながら、自分なりの答えを子どもが出せるように援助する。
- 家庭で楽しんでいたことを園でも楽しみ、広げていく姿やその逆もあるので、家庭での様子や発見を保護者と共有しながら、園と家庭の循環を通して遊びを深めていく。

月のねらい

- 友達と一緒に、お互いの考えを出し合いながら遊ぶ楽しさを味わう。
- こまめな水分補給や太陽の下で長時間の活動をしないなど、夏の生活の仕方を知る。
- 夏野菜の収穫を喜び、苦手な野菜でも意欲的に食べてみようとする。
- 夏ならではの遊びを通して、様々な友達との関わりを深める。
- 夏の健康や衛生等に気を付け、健康に過ごせるようにする。
- 七夕の由来を自分なりに理解し、感じたことを言葉にしたり製作を楽しむ。
- お泊り保育に向けた話し合いやお泊り保育を通して友達と仲間意識が深まる。
- 水や砂の性質に気付き、試したり工夫しながら遊びを広げる。

週のねらい

その1

- 1週目：こまめな水分補給を行い、自ら健康に気をつけようとする（養護）
- 2週目：様々な友達と関わりを持ち、思いを伝え合いながら遊ぼうとする（教育）
- 3週目：夏野菜の収穫を行い、最後まで育てた達成感や収穫できた嬉しさを感じる（教育）
- 4週目：友達と一緒に試したり工夫したりしながら遊ぶ楽しさを味わう（教育）

その2

- 1週目：梅雨期から夏季にかけて健康、清潔に留意して一人一人が快適に過ごせるようにする（養護）
- 2週目：プール遊びの準備など夏の生活の仕方を知り、自分から進んで行おうとする（養護）
- 3週目：自分の思いなどを出しながら友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう（教育）
- 4週目：夏の自然事象などに興味や関心を持って調べたり観察したりする（教育）

その3

- 1週目：七夕の由来を言葉にしたり、歌に親しみうたったりする（教育）
- 2週目：友達と一緒に様々な夏の遊びを楽しみ、夏の季節を満喫する（教育）
- 3週目：一人ひとりの嬉しさや不安等を受け止めて安定して過ごせるようにする（養護）
- 4週目：収穫した夏野菜を食べたり異年齢児にも食べてもらう嬉しさを味わう（教育）

その4

- 1週目：七夕に向けて願いごとを考え、文字や絵で表現しようとする（教育）
- 2週目：お泊り保育に期待を持ち、自分の意見を言葉にしたり友達の意見を聞く（教育）
- 3週目：友達と関わる中で同じ気持ちや異なる気持ちを経験し関係を深める（教育）
- 4週目：生き物を飼育する中で生命を感じる（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 汗をかいたり喉が乾いたりすると自ら水分補給を行う子どももいるが、一気にたくさん飲んでしまうなど量の調整が難しい子どももいる。
- 自分の持ち物をしっかりと把握し、大切に扱おうとする姿が少しずつ見られるようになってきている。
- 雨の日にはカップや傘といった道具を使うことを喜んでいる子どももいる。また、自分で傘を開いたり閉じたりできるようになったことを嬉しそうに話す姿がある。
- 雨の日の空の色や水溜りができる様子を観察する子どももいる。
- 育てている夏野菜の成長を毎日観察し、野菜が育っていく様子に興味を持っている子が多くいる。
- 虫歯予防デーでは歯の磨き方を確認したことで、その日から鏡を見ながらしっかり歯を磨こうとする子どもが増えた。
- 梅雨期の過ごし方が分かり考えて行動する様子が見られていた。
- 時間を意識し、「今は何時？」「何時まで遊ぶ？」と保育者に聞く様子が見られた。
- シャワーを浴びることを喜び、「気持ちよかった」と言葉にしていた。着替えを恥ずかしがる様子も見られ始めた。
- 自分が食べられる食事の量が分かってきて、量の調整を訴える。
- 片付けを率先して行う子、友達任せにする子がいる。
- 食育活動をすると野菜の形や匂いに興味を持ったり、食事に対する意欲が高まる姿が見られた。

教育（遊び）

- 仲の良い友達の話に興味を持ち、お互いに質問しながら楽しそうに話をする姿がある。一方で、興味のない友達の話は聞こえないふりをしてしまったり聞こうとできないこともある。
- 保育者や友達に、楽しかったことを積極的に話す子どももたくさんいる。自分の話を聞いてもらうと満足そうにしている。
- 製作の際には作りたいもののイメージを膨らませ、友達とイメージを共有しながら楽しそうに遊んでいる。
- ルールのある遊びでは、ルールを守って遊ぼうとする子どももいれば、自分の都合のいいようにルールを変えてしまう子どももいる。
- 年下の子に優しくできる姿、年長であるという気持ちが強く態度が大きくなってしまっている姿がある。
- 雨の日の探索や雨の日ならではの遊びを喜ぶ様子が見られ、疑問や気付きを言葉にしたり調べようとしていた。
- カブトムシにエサをあげて世話をしたり、友達と観察して気付きを共有していた。
- 雨天時に運動用具を使って遊ぶことが多かったため、新しいことに挑戦する子やできるようになったことが増えた子がいる。以前よりも積極性が増した。

活動内容（5領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活：**一度にたくさん飲みすぎない、こまめに水分を取る、など水分補給の際に気をつけることを知る。（健康）
環：水分補給のコツやなぜそうするのかを繰り返し伝え、子どもが自ら調整しながら水分補給を行えるようにする。
- **活：**汗をかいたらタオルで拭き、身の回りの清潔を保とうとする。（健康）
環：汗をかいたら服がビショビショのままになってしまう子どももいる。必要に応じて声をかけ、汗をタオルで拭いたり着替えたりできるようにしていく。
- **活：**熱中症や食中毒について知り、予防や夏の過ごし方を知る。（健康）
環：栄養士や看護師等、専門的な立場の人から話を聞く機会を作り、汗冷え、ジュースの飲みすぎの弊害などを知れるようにする。
- **活：**友達と協力して当番活動を進めたり、自分たちで時間を考えて生活をする。（健康・人間関係）
環：自分たちの当番活動に加え、時間を意識できるように時計を置いたり、集団の流れに合わせてようとする環境をつくる。
- **活：**プールの際の身支度、片付けの仕方を知る。（健康）
環：慣れるまでは絵や図を使って知らせ、プール遊びのルールと合わせて理解できるようにする。
- **活：**自分の気持ちを保育者に受け止めてもらったり友達と共有しながら安定して過ごす。（健康）
環：お泊まり保育前の期待や不安、当日の楽しさや寂しさ等に寄り添いながら安心した気持ちで過ごせるようにする。
- **活：**友達と協力して片付け、身の回りを整頓する心地よさを感じる。（環境・人間関係）
環：グループごとに片付けたり、机や椅子の配置換えなども手伝ってもらおう等、友達と一緒に生活の場を整えられるような働きかけをする。
- **活：**七夕に向けて保育者に手伝ってもらいながら名前や願い事を書こうとする。（環境）
環：自分で平仮名を書けるようになる子がいたり、興味があるものの書けない子がいるため、一人ひとりに合った援助を行い、文字を書いたり読んだりする楽しさに繋げていく。
- **活：**調理活動を通して包丁の使い方を知る。（環境）
環：包丁の危険性や扱い方等、子ども達に問いかけながら一緒に確認していく。包丁を使う時は少人数ずつじっくりと行い、切る楽しさや食への関心に繋げていく。
- **活：**七夕の行事に興味を持ち、歌をうたったり由来を聞いたりする。（環境）
環：パネルシアターや絵本等、分かりやすい内容のものを用意し、日頃から歌に触れる機会を設けることで七夕の雰囲気を感じたり知識に繋がるよう関わる。
- **活：**栄養や休息を十分にとり、夏の時期を健康に過ごせるようにする。（健康）
環：一人ひとりの食欲や体調の変化等に留意しながら、無理のない食事や十分な睡眠がとれるよう関わっていく。発熱症状があっても元気に過ごしていることもあるため、触診も丁寧に行う。

教育（遊び）

- **活：**相手の話に興味を持ち、最後まで落ち着いて話を聞こうとする。（言葉・人間関係）
環：遊びの最中には遊びに夢中になってしまい、相手の話を聞こうとできない子どももいる。遊びの最中であっても、相手の話に耳を傾けられるように声をかけていく。
- **活：**自分の思いや考えを友達に伝え、一緒に考えを出し合いながら楽しく遊ぶ。（言葉・人間関係）

環：遊びの中で思ったことや考えたことを話せるよう、なかなか言い出せない子どもには声をかけるなどの援助を行う。友達と共感したり考えを出し合ったりしながら進められるよう、遊びを見守る。

- **活：**いろいろな材料を使いながら、考えたり工夫したりしながら製作する楽しさを味わう。（表現）

環：常に色んな廃材を置いておき、子ども達の発想が形になるような環境を整えておく。

- **活：**お泊まり保育やプール遊びでは、ルールを守りながら楽しく過ごす。（環境）
環：お泊まり保育やプール遊びの際には前もって約束事を伝え、子どもたちがルールをしっかりとは知れるようにする。また、繰り返し確認することで、ルールに気づけるようにする。
- **活：**夏ならではの遊びや縁日などの行事に興味を持ち、喜んで参加する。（環境）
環：縁日やお祭り遊びなど、夏ならではの遊びができるよう準備を行う。子どもたちと話し合いながら遊びを進めることで、子ども自身がイメージしたり工夫したりしながら進められるようにする。

- **活：**夏の生き物や草花に触れ、興味や関心を持つ。（環境）
環：草むら、落ち葉だまり、木があるところなど、色んな場所に出かけて子ども達が様々な生き物と触れ合えるような機会をつくる。
- **活：**様々な年代の地域の人と交流しながら、七夕祭りを楽しむ。（人間関係・環境）
環：スムーズに交流がいくように材料、道具を揃え、小グループごとに地域の方々との交流ができるように援助をする。

- **活：**自分たちで飼育した生き物を観察し、変化や成長、発見を楽しむ。（環境）
環：子どもと図鑑などで調べ、一緒に成長を見守れるように環境を整えておく。日ごとに発見や気づきを共有する。

- **活：**自分なりの目当てをもって友達と遊びに取り組んだり、興味をもったことを深める。（健康・人間関係）
環：一人ひとりの取り組み、遊びを深めるため、「面白い」に共感したり、一人の声を拾って全体活動につなげる等、発展がなされるように援助を行っていく。

- **活：**育てている夏野菜の成長を観察し、収穫を喜ぶ。（環境）
環：夏野菜が大きくなってきたことを子どもに知らせ、収穫できそうなものから順に収穫をしていく。十分に実らず、収穫できない子がいないように気をつけてみるようにする。

- **活：**友達と一緒に全身でプール遊びを楽しむ。（人間関係・環境）
環：遊び慣れてくると遊び方が活発になってくるため、安全面に留意しながら遊ぶ楽しさに共感していく。バタ足やトンネルくぐり、簡単なゲーム等を取り入れて全身で水に触れたり、友達と楽しめるようにする。

- **活：**生命に触れ、接し方を考えたり命を大切にしようとする気持ちが育まれる。（環境）
環：疑問や知識を言葉にする姿を受け止め一緒に考えたり飼育しながら生き物を大切にすることを育む。生死に触れて感じた思いに共感しながら命について感じられるようにする。

- **活：**お泊り保育に期待を持ち、友達と準備をしたり当日を楽しく過ごす。（人間関係・環境）
環：前年度までのお泊まり保育の動画や写真でイメージが沸くように関わり、自分達で活動ついて話し合ったり準備することで期待に繋げていく。年長ならではの楽しい思い出として記憶に残るよう丁寧に関わっていく。

- **活：**異年齢児と関わる中で思いやりの気持ちを持つ。（人間関係）
環：行事や合同遊び等で触れ合う前に、されて嬉しいことや嫌なこと等について子ども達と一緒に考える。思いやる姿を大いに認めて他児にも知らせていくことで思いやりの気持ちが育まれるよう関わる。

- **活：**盆踊りや体操等、友達と一緒に体を動かすことを楽しむ。（健康・表現）
環：保育者が楽しそうに踊る姿を示して興味に繋がったり、全体活動だけでなく、自由遊びの中で音楽を流すことで好きなときに踊れるような環境を整える。

- **活：**自分の好きなことや得意なこと等を発揮しながら遊びを広げることを楽しむ。（人間関係・環境・表現）

環：保育者が得意なことや好きなことを認める姿を示すことで、子どもも友達の姿を認める気持ちに繋げていく。友達の発想と合わさることでより遊びが広がっていくという楽しさを経験できるように関わる。

- **活：**跳び箱や平均台、マット遊びで意欲的に遊び、充実感を感じる。（環境）

環：一人ひとりの様子に合わせて自信や挑戦意欲が湧くような環境を設定する。安全面には十分留意していく。

- **活：**見たものや感じたこと、経験したことを絵で表現する。（表現）

環：中々描き出せない子がいる時は、描く用紙を小さくしたり、場所を変えたり、側と一緒に描くことで安心して描き出せるよう関わる。描いた絵を保育者や友達に認めてもらうことで描く楽しさや表現力に繋げていく。

- **活：**友達と一緒に作品を作ったり、料理を作ったりすることを通して仲間意識が高まる。（人間関係）

環：友達と一緒に活動する時間を作り、気持ちを共有する中で関係を深められるようにする。意見がぶつかったり、自分の気持ちを言えない姿が見られる時は仲立ちしながら、お互いの気持ちを尊重できるよう働きかける。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 熱中症が起こりやすくなってくる時期。外で長時間遊びすぎたり、室内の温度が高すぎたりしないように注意する。
- お弁当を持参する際には食中毒に気を付けるため、保管場所に気を付ける。
- プール遊びの際には、体調の変化がないか気をつけて見ていく。
- プール遊びを行うにあたり研修を行って安全なプール遊びが行えるようにする。
- 蜂や蚊の発生状況について職員間で共有する。
- お泊り保育に参加する職員で活動の流れや配慮が必要な子・場所について確認しておく。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- クラゲ製作／編み編みカメさん／折り紙で織姫と彦星

歌

- ぼくのミックスジュース／せんろはつづくよどこまでも／きょうのひはさようなら

絵本

- きつねのかみさま／うみべのハリー／わたし、くわがた

手遊び

- たなばたさま／すいかのめいさんち／きつねがね、ばけたとさ

室内室外遊び

- ドッジボール（入門編）／色水遊び／ざりがに釣りのコツ

行事

- 海の日（第3月曜）
- 七夕（7/7）
- ひまわりの日（7/14）
- 幽霊の日（7/26）
- 土用の丑の日
- 水遊び
- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定

食育

- お箸に興味を持ち、必要に応じて少しでも使ってみようとする。
- 夏野菜の収穫を通して、苦手な野菜も食べてみようとする気持ちを持つ。
- 決められた時間の中で食事を終わられるように食べ進めようとする。
- 友達と食器の並べ方やマナーについて確認し合う。
- 友達と一緒に流しそうめんをすることを楽しみ、夏の雰囲気を楽しむ。
- お泊り保育で友達と一緒にカレーを作り、食べることを楽しむ。

異年齢保育

- 製作遊びで、友だちに道具の使い方を教える姿を見守り、必要に応じて助言や援助を行う。
- 栽培物の水やりを友だちと一緒にやる姿に寄り添い、成長の喜びを分かち合えるよう声をかける。
- ダイナミックに水遊びを楽しめるよう、必要に応じて遊びの場や時間を分ける。
- 水遊びで道具を使った試行錯誤を楽しむ中で、その面白さを年下の友だちと共有できるよう関わる。
- 友だちと思いがすれ違うときは、双方の思いを受け止め、丁寧に言葉にしながら仲立ちする。

職員間の連携

- 暑さによる体調の変化に適切に対応できるよう、子どもの様子を丁寧に観察し、共有する。
- 水遊び時の職員の役割分担や動きを明確にし、声をかけ合いながら安全に配慮する。
- 当番活動での子どもの様子を共有し、自信を持って取り組めるような工夫や関わりを行う。
- 職員間で共通理解を図りながら行事の計画や打ち合わせを行い、協力して取り組めるようにする。
- 夏の健康的な過ごし方が身につくよう、環境設定や声かけの工夫を話し合い、実践していく。

地域と家庭との連携

- お泊まり保育やプール遊びについてなど知らせ、準備をしてもらえるようお願いする。
- 園の夏季休暇についてお知らせを早めに行えるようにする。また、各家庭の夏季休暇についても知らせてもらえるようお願いする。
- 熱中症の予防や対策について、いつでも見えるように掲示板に貼っておく。
- 着替えが多くなる時期のため、こまめな衣服の補充をお願いする。

- 夏の感染症や園での罹患状況を知らせ、関心に繋げていく。
- お泊り保育を行うにあたり、保護者から心配な点や配慮する点等を聞き取る。又、当日の様子を動画や写真で伝えて安心感に繋げる。

長時間保育の配慮

- 夕方は、気温や体調に応じて、園庭遊びや散歩を取り入れ、戸外の空気に触れる機会を設ける。
- カードゲームやボードゲームなど、気の合う友だちや保育者と穏やかに楽しめる遊びを用意する。
- 日中の疲れを考慮し、静かに過ごせるスペースを広く確保して、落ち着いて過ごせる環境を整える。
- 保育者との会話を通じて、思いを伝えたり受け止めてもらう喜びを感じられるように関わる。
- 朝晩と日中の気温差に応じて衣服の調整を促し、心地よく過ごせるよう配慮する。

自己評価

- 夏野菜の成長を観察し、喜んで収穫することができたか。
- 様々な友達と遊び、関わり深めることができたか。
- 友達と一緒に工夫したり考えたりして遊ぶ楽しさを味わえたか。
- 自分の思いや考えを相手に伝え、共感したり話し合ったりする充実感を感じられたか。
- プール遊びやお泊り保育では、ルールを自ら守ろうとすることができたか。
- 水分補給や着替えを行い、自ら健康に気をつけて過ごそうとできたか。
- 夏ならではの遊びを喜び、工夫したり試したりしながら遊びを進められたか。
- 夏の自然に触れ、興味関心を持てたか。
- 夏の健康や行事前後の疲れ等を考慮し、無理なく過ごせるようにしたか。
- お泊り保育に向けた期待や不安等に寄り添い、安心した気持ちで過ごせるよう関わったか。
- 夏野菜の収穫や調理活動を通して食べることにに対する意欲が高まったか。
- 七夕の由来が分かり、製作活動や友達と一緒に流しそうめんを楽しめたか。
- 野菜の栽培や生き物の飼育を通して生命に触れられたか。
- プール遊びを行うにあたり、研修に参加したり職員間で話し合い、安全な環境を整えられたか。
- お泊り保育で心配なことやしてほしいこと等、保護者から丁寧に聞き取ったか。
- 保護者の方に日々の様子を写真やおたより、送迎時等に伝えて安心感に繋がったか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

